

# 第9回 持続的な発展に向けた 空港業務のあり方検討会

## 空港グランドハンドリング業務における 作業資格の相互承認について

2024年4月3日



Inspiration of JAPAN



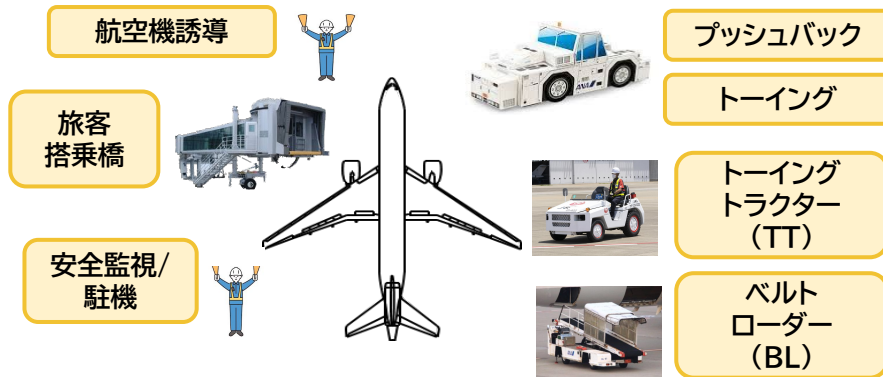
**JAPAN AIRLINES**

- (1) 2024年4月からANA・JAL両社の委託先が同じ10空港で7つの社内資格の相互承認を開始します
- (2) 相互承認のニーズがある他の地方空港への拡大や、航空保安教育などの社内教育への拡大を目指します
- (3) 資格の業界標準化や入社後の訓練時間短縮のため専門学校等の教育カリキュラムへの導入を検討します

※両社の委託先が同じ**10空港**：利尻、根室中標津、函館、秋田、仙台、新潟、岡山、徳島、高知、鹿児島

## 相互承認内容

- 対象資格：7資格（右図参照）の相互承認を開始  
※グランドハンドリング業務における基礎的な資格は100%カバー（機材が違うためドア操作等は除く）
- 運用：ANA・JALどちらかの資格を取得した後に他社の資格取得をする際、**差異部分の知識確認・座学のみで資格を付与する**



## 今後の取り組み

2024年4月～

- ➔ 10空港で相互承認開始
- ➔ ニーズがある他空港への拡大や社内教育への拡大、資格の業界標準化等の検討

2024年度中

- ➔ 両社のグラハン作業の標準化に着手
- ➔ 10空港で重複している
  - ①航空保安教育
  - ②危険物教育
  - ③落下物教育
  - ④アルコール教育の共通化に着手

2026年度～

- ➔ グラハン資格業界標準化 (TT・BL等から開始)
- ➔ 航空専門学校等の教育カリキュラムへの導入

(共同リリース)

2024年4月2日  
全日本空輸株式会社  
日本航空株式会社

## ANAとJALがグランドハンドリング業務における作業資格の相互承認を開始しました

全日本空輸株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:井上慎一、以下「ANA」)、および日本航空株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長:鳥取三津子、以下「JAL」)は、2023年11月24日の共同リリース「[持続可能な空港グランドハンドリングに向け、ANAとJALが共同で具体的な取り組みの検討を開始しました](#)」の内容に則り、2024年4月1日より、両社の委託先事業者が同一である国内10空港において、グランドハンドリング分野における作業資格を相互に承認する仕組みの運用を開始しました。

今回の仕組みで対象としている資格は、グランドハンドリング業務における基礎的な資格を中心とした7資格であり、ANAまたはJALどちらかの資格を取得した後に、他方の資格取得をする際、差異部分の知識確認・座学教育のみで資格を付与する仕組みとしております。

これにより、両社の委託先事業者が同一であるランプハンドリング作業(飛行機の地上移動や、貨物・手荷物を搭降載・搬送する業務等)における教育訓練の時間が大幅に短縮できるとともに、ANAとJAL両社の作業に従事できる資格者の早期養成を図ることができ、グランドハンドリング事業者にとって、業務の効率化と繁忙緩和に繋げることができるようになります。

今後もANAとJALは、将来にわたり航空運送事業を維持発展させ、お客様への安定的なサービスを提供することを目的とした協調施策として、各種教育や作業手順の共通化、機器等の共同調達や共同利用の拡大等について、2024年度においても検討、実行を継続していきます。また、業界全体で解決すべき問題については、空港グランドハンドリング協会を中心に企業の枠を越えて取り組んでいきます。

### 【対象資格(7資格)】※写真下記載が資格名称



- ①トーイングトラクター ②ベルトローダー ③旅客搭乗橋 ④安全監視・駐機 ⑤航空機誘導 ⑥プッシュバック  
／⑦トーイング

### 【対象空港(10空港)】

■ 委託先グランドハンドリング事業者が同じ空港(一次委託先)

利尻、根室中標津、函館、秋田、仙台、新潟、岡山、徳島、高知、鹿児島

以上

報道機関からの問い合わせ先  
全日本空輸株式会社 広報部 03-6735-1111  
日本航空株式会社 広報部 03-5460-3105